

外よりも
 内の明るさ
 春障子
 杉坂 大和

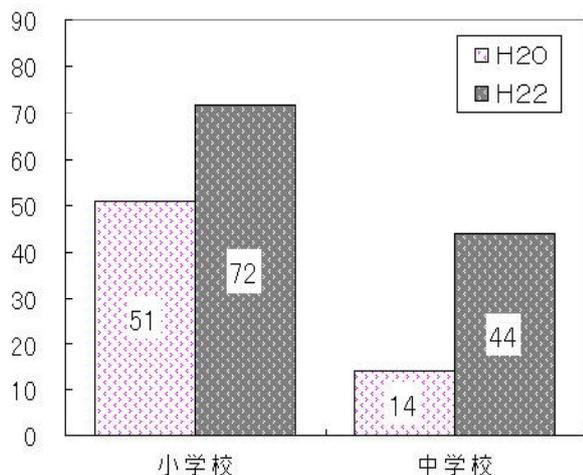
学校図書館の充実を目指して

ー平成22年度「学校図書館の現状に関する調査」結果よりー

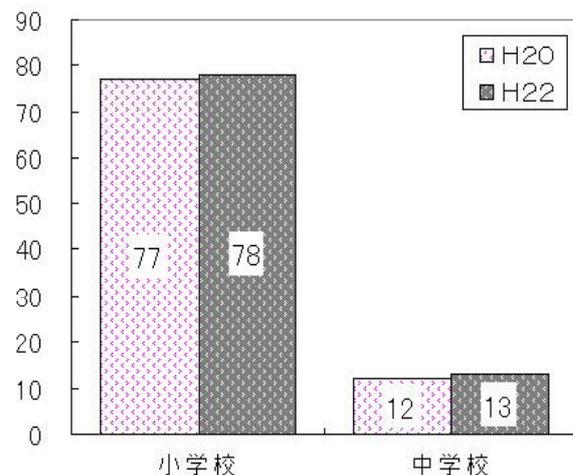
文部科学省で実施している「学校図書館の現状に関する調査」では、地域との連携状況に関する2項目が設けられています。これらの項目について、秋田県の小・中学校図書館の現状を、平成20年度実施の前の調査結果と比較してみました。

※調査対象 小学校：H20年度 262校、H22年度 250校
 中学校：H20年度 131校、H22年度 129校

【公立図書館との連携を実施している学校(%)】



【ボランティアを活用している学校(%)】



【公立図書館との連携内訳(学校数)】

※複数回答可

	小学校		中学校	
	H20	H22	H20	H22
貸出等利用	121	163	14	33
連絡会の実施	4	15	2	4
司書等の学校訪問	16	73	1	27
その他	13	11	2	3

【ボランティアとの連携内訳(学校数)】

※複数回答可

	小学校		中学校	
	H20	H22	H20	H22
図書館サービス支援	18	14	0	3
設備整備支援	44	65	1	8
読書活動支援	192	189	15	6
地域開放支援	0	1	0	0
その他	3	5	2	2

小・中学校ともに、公立図書館との連携を実施している学校が増えています。内訳を見ると「図書資料団体貸出等の利用」が順調に伸びているほか、「定期的な連絡会の実施」や「公立図書館司書等による学校への訪問」など、互いに顔を合わせて連携する機会が多くなっていることが分かります。一方、ボランティアによる支援は、小学校で大半を占めている「読み聞かせ等の読書活動支援」のほか、「書架の見出しや飾り付け等、施設の整備に係る支援」が増加していることが注目されます。学校と公立図書館等・ボランティアとの連携が深まる中、今後は内容面の充実が期待されます。

◆◆◆ 子ども読書夢プラン事業 ◆◆◆

今年度の取組を振り返って

県内159校の小・
中学校図書館と連携し
ました！

学校以外での子ど
もの読書活動を支援し
ました！

今年度、25名のサポーターが出向いた学校の数は、小学校111校、中学校48校です。また、乳幼児健診や幼稚園・保育所、及び放課後子ども教室等、学校以外で読書活動支援をする機会も多くなってきました。一人で複数の学校図書館を支援したり、活動場所を広げたりすることができた背景には、本事業を積極的に活用して、子どもの読書活動推進に取り組む各市町村の存在があります。

サポーターの 活動体制づくり

- 公立図書館等や学校の現状把握と事業説明
- 関係各課・機関・団体等の協力体制づくり
- 勤務場所・日程の計画作成
- 関係者間の連絡調整と、内容の改善

公立図書館等 による支援

- 図書補修や環境整備等、サポーターへの技術支援
- 読書や学習に必要な図書資料の貸出
- 教職員や図書ボランティアを対象とした研修機会の提供

学校への 働きかけ

- 学校図書館の計画的な利活用の促進
- 公立図書館等との積極的な連携の推進
- 学校間における情報の共有化

ボランティア との連携

- 読み聞かせ等の読書活動支援
- 学校図書館の環境整備等の活動支援
- ネットワークの構築



<第3回研修会の様子>
(平成23年1月)

「第二次県民の読書活動推進計画」に基づき、県では、関係各課・学校・図書館・社会教育・民間団体等による「読書活動推進会議」を開催しています。同様の取組を進めている市町村もあり、地域に応じた読書活動推進が具体的に動き出しています。

秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班

URL

<http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>

